令和４年度事業報告

●年間計画と変更について

＊新型コロナウイルス感染症に係る昨年度の経験と反省を活かした年間計画をたて、教職員全員が保育環境と活動方法等の共有認識を持って教育活動に励んだ。また保護者へは、状況に合わせた園の方針をその都度示し、安心して通園できるよう心掛けてきた。保護者との信頼関係も築けたためか年間を通して休園や学年・学級閉鎖等はなく、大きな混乱もなく過ごせた。

＊おやこ運動会(１０／１：今小グラウンドにて一斉開催)・生活発表会(１１／２６：ロゼシアター大ホールでの分散開催)・作品展(２／５：園内で参観を含む分散開催)・卒園式(３月１９日：参列者２名の通常開催)の行事は予定通りで、来賓招待を自粛して行った。また保育あるいは英語参観等は分散または１週間という期間を設けるなど、駐車場混雑と人の密集を考慮して行った。年長行事の野外活動のみ、悪天候の為７月から３月へ変更した。

＊母の会活動は、①「おやこフェスタ　いまいづみ」(７月)　②生活発表会では昨年に引き続き、ひよこ・年少・年中の部と年長の部の２部構成で行い、マザーコーラスは休止。③クラブ活動は、ヨガレッチ・英会話・絵本の会・刺繍の４クラブが開講。講師の都合で紙バンドクラブが廃部、アロマクラブが休止となった。④１年に８回の親セミナーは、全講座を実施した。

＊地区行事(体育祭・文化祭・安心のまち今泉・駅伝大会)は、全て中止となった。

●寄付金・現物寄付・補助金について

＊寄付金・・・①一般寄付金
母の会費より、子どもの保育や行事に係る経費補助として８００，０００円のご寄付を頂いた。【添付①】
②母の会「おやこフェスタいまいづみ(えんにちごっこ・手作り品販売・ドーナツ販売)」での売上金３１１，８７７円をご寄付頂いた。

＊現物寄付・・③寄付金②より、絵本と砂場のおもちゃを注文したが、３月の決算には至らなかった。
④母の会ベルマーク収益点数より、楽器(マーチングドラムスネア・テナードラム各４台)を購入した。

＊補助金・・・全ての補助金は人件費に活用した。

＊経常費補助金　県　(毎年)
交付額３１，３２０千円、追加交付額１５，２６２千円で、
年間交付額は４６，５８２，０００円であった。経常費補助金の性質上、園児数減の影響が補助金額減となった。

＊教育支援体制整備事業費補助金(教育体制支援事業)　県　(初回)
昨年度に続き処遇改善(賃金改善)に係る補助金を申請し、毎月の給与に反映して処遇改善を図った。

＊預り保育事業補助金　県　(毎年)

上限額の補助を受けたが、運営費としては不足であった。
平日の平均利用者数は６０名、午前保育日や長期休暇期間は８０名から１００名で、年間延べ人数は、１５，０００人以上となった。
コロナ対策だけでなく、人数が多い時間は安全確保のため保育室を分散し学年別での預かり保育を強いられた。そのため多少の人数が減る１６：００までは、各学年での教職員が必要となる為、一日あたりの担当教員の人数が多くなった。

＊障害児教育事業補助金　県　(毎年)

８名の申請をした。各学年にフリーを配置していたが、完全に１対１の加配を要する(衝動・多動傾向が強い)幼児が数名いたり、医師の診断書や障害者手帳等がなく入園当初は補助対象外であったが集団生活が困難な幼児もいた為、人事に配慮を要した。

＊教育支援体制(保健・衛生)　県

上限額５００，０００円で新型コロナ感染症対策として手指消毒液やマスクの購入をした。

＊幼稚園接続保育事業補助金　市

特定子ども・子育て支援施設による一時預かり(２歳児保育)の人件費と、無償化の対象外の家庭に対する一部補助として活用した。これに関しては、先生の配置や幼児の増減というよりは、利用幼児の月齢と入園時期により補助額が変わってくるため、昨年度に比べて補助額増となった。

●教職員について

1)令和４年度は、本務職員(２１名)・本務職員(２名)・非常勤教員(１３名)・非常勤職員(３名)・園児英語講師(４名)の計４３名と小学生(フレンドクラブ)英語講師６名の総勢４９名であった。
また、預り保育事業「ぴーちゃんのへや」では、学生アルバイトも年間通して２名・短期で数名を雇用した。　(実習等を通して適任と思われる実習生、または教諭を目指す学生限定で配置可能となっている)

◎人数だけでなく、教員・職員ともに質の高い人材の確保が重要である。R４年度の新卒者は、質が高く新人指導もしっかり行えた。その反面、預り保育担当教職員やバス運転手・英語講師などは時間や技能が特殊である為、雇用にかなりの苦戦をしている。人脈の幅を広げていくことが必要である。

●補修工事等について

1)令和４年度は、敷地西南にある園庭(グリーンフィールド)の防犯対策を強化するという目的で、フェンスを二重にする(西側)、高くする(南側)工事を行った。当初は補助金を申請する予定で夏休み中の工事を計画をしていたが、計画書提出の時期が１０月以降となったことに加え、計画書を提出した後に補助金申請対象外となってしまったため工期が大幅に遅れた。結局R５年度４月以降の春休み中の工事・支払いとなった。(R５年度の予算計上)

2)園庭や砂場の砂が雨等で徐々に減ってきたため、約５年ぶりに園全体に砂を入れた。フェンス工事に合わせて行うこととなっていた為、４月春休み中の工事・支払いとなった。(R５年度の予算計上)

◎工事・修繕等はいくつかの業者の相見積もりが適当である。園舎の特殊な部分の修繕や急を要する場合は別として、数社での相見積もりの上で工事依頼をしていくように考慮していきたい。